

中国フィジカル AI の量産・実装最前線

～主要プレイヤー、産業別ユースケースと日本企業への示唆～

－講師－ (株)情報通信総合研究所 ICT リサーチ・コンサルティング部
主任研究員 張 怡 氏

日 時 2026 年 1 1 月 2 0 日 (金) 午後 1 時～ 3 時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)
会 場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋 2-6-2 ザイマックス西新橋ビル 4F

〔重点講義内容〕

フィジカル AI を巡る開発競争が世界で加速するなか、中国はサプライチェーンなどの強みを生かし、量産と社会実装で急速に進んでいます。ロボット本体にとどまらず、AI 基盤モデルやデータ基盤の構築でも存在感を高めています。

本講演では、中国のロボット市場と産業政策の現状を概観し、本体・部品からモデル・データ・インフラまでの業界構図と主要プレイヤー、産業別に広がる実装の最前線を読み解きます。そのうえで、実装の課題とその解決に向けた取り組みを整理し、日本企業への示唆を示します。

1. フィジカル AI とは

- (1) フィジカル AI の構成要素
- (2) 中国での捉え方

2. 中国におけるフィジカル AI の市場概況と産業政策

- (1) ロボットの生産量推移など
- (2) 国家戦略と地方政府の推進策

3. 中国のフィジカル AI 業界構図と主要プレイヤー

- (1) 本体・主要部品/基盤モデル/データ/インフラの 4 レイヤーでみる業界全体像
- (2) 主要企業動向

4. 実装が進む中国の現場

- (1) 産業別の実装最新動向(製造、物流、インフラ点検、小売、公共サービスなど)
- (2) ロボット競技・パフォーマンスが果たす役割

5. 実装の課題

- (1) データ制約
- (2) コスト対パフォーマンス

6. 今後の展望

- (1) 課題解決に向けた取り組み
- (2) 国際競争の激化、日本のフィジカル AI 産業への示唆

7. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 張 怡(ちょう い)氏

大学院博士後期課程経済学満期退学。2019 年 10 月より現職。国内外 ICT 分野の経済分析・利活用動向を中心に調査研究に従事し、フィジカル AI・ロボティクス、光電融合などを主要テーマに、グローバルな競争環境・市場動向、技術トレンドを分析している。中国の ICT 産業動向に精通する。

